



## ヒバクシャ地球一周 証言の航海 Global Voyage for a Nuclear-Free World Peace Boat Hibakusha Project

**PEACE  
BOAT**

〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場  
3-13-1-B1  
TEL: 03-3363-7561  
FAX: 03-3363-7562  
<http://www.peaceboat.org>

2024年2月

# ピースボート Voyage117 「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」 参加者 略歴

## ■被爆者



写真: ANT-Hiroshima

### 田中 稔子(たなか としこ)

広島被爆 1938年10月18日生まれ 被爆当時6歳  
広島県広島市在住

国民学校に登校中2.3km地点で被爆。思わず顔を右腕で覆ったため、頭、右腕、首の左後ろ側を火傷した。その日の夜から高熱を出し、意識不明となるが、一命をとりとめた。米国ニューヨークの高校生に証言をするプロジェクト「ヒバクシャ・ストーリーズ」に招かれるなど、7年間で10回以上渡米し、アメリカのさまざまな人に被爆証言をしてきた。2020年9月21日、国際平和デーにあわせて、アメリカ国内5か所の枯山水庭園で、デザインした図案に基づき、砂紋引きが行われた。

### 小川 忠義(おがわ ただよし)

長崎被爆 1944年3月22生まれ 被爆当時1歳  
長崎県長崎市在住

原爆投下当日は疎開していたが、1週間後自宅の状況確認のため入市し、被爆。自身の被爆当時の記憶はないが、被爆者の最後世代として証言を継承していけるようにと過去のおりづるプロジェクト(2012年第5回)に参加。また、現在は自身の趣味である写真を生かし、毎年8月9日11時2分の様子を写真に収める活動(忘れないプロジェクト)を行っている。これまでに県外や国外からも200枚を超える写真が集まり、被爆100年には1000枚を超えることを目指して精力的に活動している。

## ■ユース特使



### Rongyuan Huang (ロンギャン・ファン)

中国出身、米国在住。日本への留学経験あり。  
広島、パールハーバーを訪れ、戦争や原爆投下、歴史認識などに関して、自国を含めたそれぞれの価値観があることを実感。  
アジア諸国からの多様な乗船者と被爆者の言語的、文化的な橋渡しのサポートをしながら、お互いを尊重しながら意見の違いを認める大切さを伝えたいと参加を決意。



## Joel Naoki Christoph (ジョエル・直樹・クリストフ)

フランスと日本の両親の間に生まれ、ヨーロッパ、アジア、北アメリカで暮らす。原爆被害者、ホロコースト、戦争、そしてジェノサイドの生存者の話を聞いたことから、国際的な平和と相互理解を推進し、他者の苦しみを軽減することに尽力することを決意。G7 ユースサミット、広島-ICAN アカデミーにも参加し、精力的に被爆証言や核兵器について学びディスカッションを重ねる。また大学では、核やデジタル問題、国際公法について専門的に学び博士号を取得し、高等教育の学生が研究テーマを見つける手助けをする非営利団体のディレクターも務める。フランス語、英語、日本語、オランダ語、ドイツ語、スペイン語と多言語を使いこなす。今回被爆者とともにクルーズに乗船し、国境や世代を超えたディスカッションができる橋渡しを目指す。

## ■プロジェクト水先案内人



### 田中熙巳(たなか てるみ) 横浜～ケープタウン 日本被団協代表委員、埼玉県原爆被害者協議会会長

1932年4月29日 中国東北部(旧満州)生まれ。東京理科大学物理学科卒業。工学博士。1938年父の死亡により、父母の姉たちがいた長崎に移住。1945年8月9日、県立長崎中学校1年在学時、爆心地から3.2キロの地点で原爆被爆。爆心地付近にいた二人の伯母の家族5人の命を一挙に奪われ、母方の伯母を野原で荼毘に付す。1972年から、被爆者運動に関わり、宮城県原爆被害者の会や日本被団協の役員を歴任。2000年6月より、日本被団協事務局長を務める。2017年6月より日本被団協代表委員。



### Mary Dickson(メアリー・ディクソン) ニューヨーク～マンサニージョ 脚本家、風下住民

作家・脚本家・ユタ州ソルトレイクシティ出身の風下住民、甲状腺がんサバイバー。核実験被害者への援助を国際的に訴える活動家。日米の学会やフォーラムで核兵器の人間への影響について幅広く執筆や講演活動を行う。過去4年間、風下住民やウラン鉱山で働く労働者、また米国各地の支援団体と共に、核実験と核兵器製造による被害者への補償を拡大するよう米国議会での法案制定のために尽力してきた。ドキュメンタリー映画でのインタビュー多数。戯曲『Exposed』は批評家から絶賛され、全米各地のステージ上での朗読作品として上演されてきた。2012年、核実験被害者たちのために行った長年の功績が認められ Alliance for Nuclear Accountability(核のアカウンタビリティのための連合)から栄誉を称えられた。